

# 南部小ふれあいポプラ祭 「科学実験コーナー」

日時 2009年10月31日(土) 10:30~14:30  
 場所 南部小学校 第2理科室  
 参加者 午前：児童 約40名、午後：児童 約50名  
 題目 「ペットボトル噴水実験器」

モバイルキッズケミラボを通して、ポプラ祭での科学実験教室の指導の依頼があり、「スライム」と「ペットボトル実験器」の2テーマのうち、後者を担当しました。当初予定の定員を大幅に上回る参加者がありました。

## 指導者

- 田村 恒一（機器開発技術室）
- 寶槻 順平（工学部4年）
- 伊藤 淳（工学部4年）



### ペットボトルの噴水実験器

1. どんな実験なの？  
 2色のペットボトルと2本のストローを組み合わせて、噴水実験器をつくり、水の入っている方のペットボトルを上にする、その下のストローの穴から水が噴き出します。さて、その仕組みは理解できるかな？

2. 準備するものは？

- ・500mLのペットボトル（ふた付き） 2
- ・直径6mmのストロー（厚6mm）2本
- ・両面テープ（クッション材つきで幅3cm）
- ・穴あけ用具（ドリルや筆などで）
- ・ビニールテープ

3. 作り方は？

- ① 2本のストローに、じゃばらより1cmくらい上部（厚い方）に直径1mmくらい穴を開ける。
- ② ペットボトルのキャップを反対向きに両面テープで貼り合わせる。
- ③ そのキャップに、直径6mmの穴を2つ開ける。
- ④ その穴の一つに、厚い部分の方からストローを差し込む。じゃばらの部分が穴のところではまはらば固定ができないのでベストである。
- ⑤ ①と同じように、もう一方の穴にもキャップの反対方向からストローを差し込む。
- ⑥ 2本のペットボトルに水を半分くらい入れてストローつきのキャップをする。
- ⑦ もう1本のペットボトルは空のままはめ込む。

気をつけよう！  
 キャップに穴を開けるのは危険なことがあるので、大人の人に助けてもらおうようにする。

出典：山梨大学



「科学実験コーナー」スナップ

